

地域全体で島の宝を育てる三宅の教育

三宅村コミュニティ・スクール

～地域とともにある学校づくりを目指して～

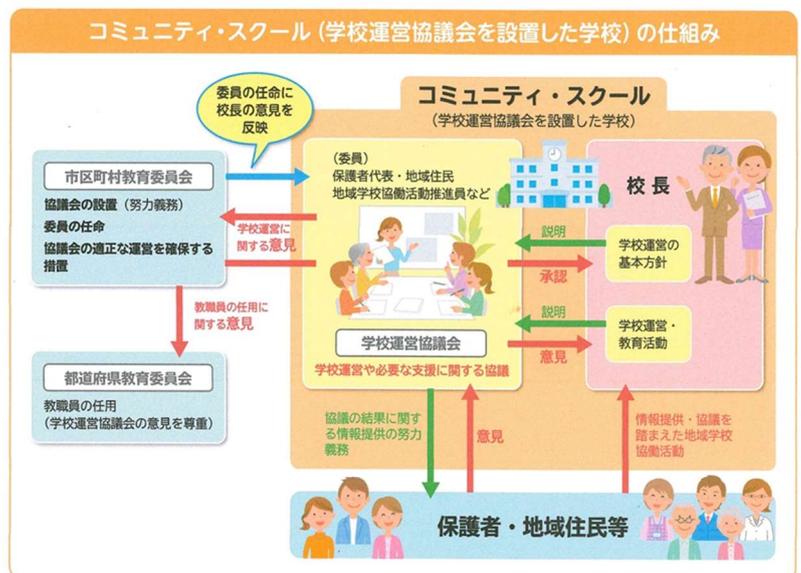


三宅村教育委員会は、教育憲章の「三宅島の地域全体で子どもたちを育てます」を受けて、地域とともにある学校づくりを進めています。

コミュニティ・スクールは、そうした学校をつくる有効な制度で、保護者や地域住民等が「学校運営協議会」を通じて、目標やビジョンを共有し、教育の担い手の当事者として学校運営に参画します。この仕組みにより、学校運営や教育活動に家庭・地域の声が積極的に生かされ、子どもたちにとって豊かな成長の機会あふれる学校づくりを進めていきます。三宅村では、令和7年度からのコミュニティ・スクールを導入します。

コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置している学校のことです。コミュニティ・スクールには、校長及び地域住民や保護者などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、地域・保護者・学校が一体となって、より良い学校教育と特色ある学校づくりを推進し、地域に信頼される学校づくりを行うことが求められています。



〔文部科学省 コミュニティ・スクール 2018〕より

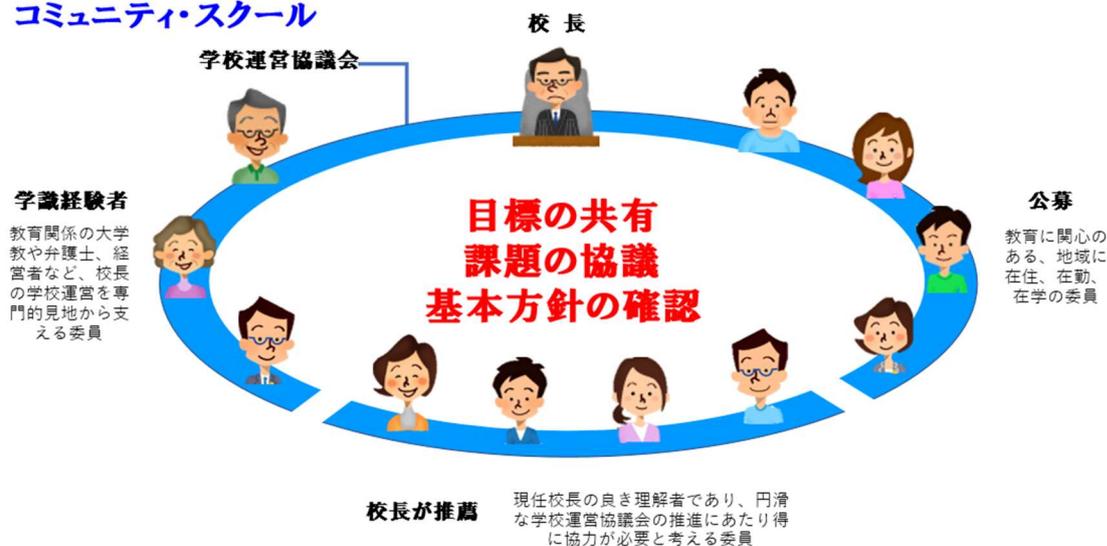
問い合わせ先 | 三宅村教育委員会 教育課 学校教育係 電話 04994-5-0952

コミュニティ・スクールの主な役割

学校運営協議会においては、保護者や地域住民等の意向を学校運営に反映させながら、学校運営の最終責任者である校長を支え、学校を応援することができます。

- 1.校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 2.学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べることができる
- 3.教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見を述べるができる
※任命権者の任命権の行使そのものを拘束するものではありません。

コミュニティ・スクール



コミュニティ・スクールを導入することで効果は

- 1.保護者・地域住民等も子供たちの教育の当事者となり、責任感を持って積極的に子供への教育に携わることができるようになります。
 - 学校が保護者や地域住民等と一緒に課題等に対する対応策を考え、実行に移すことができます。
- 2.保護者や地域住民等にとって学校運営や教育活動への参画は、自己有用感や生きがいにつながります。さらに、子供たちの学びや体験が充実します。
 - 多くの大人の専門性や地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現し、子供たちに多様な経験を積ませることができます。
- 3.保護者や地域住民等と学校が顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現します。
 - 学校の現状や運営方針について理解が深まり、地域住民等が学校の応援団となります。
 - 学校・家庭・地域の「適切な役割分担」により、教職員が子供と向き合う時間の確保につながります。
- 4.地域の課題解決に向けた取組や大規模災害時の緊急対応等に、学校と地域が一体となって取り組むことができます。